

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8266
担当部課名	土木部	道路補修	課	狭あい道路
事務事業名	道路調査測量設計委託（狭あい道路）		事業コード	32220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりのある道路の整備	~63
施策名	第2施策	身近な道路の拡幅整備、道路舗装の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

建築基準法第42条

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
幅員4m未満の狭あい道路について、生活道路として良好な道路空間を確保するため、後退義務用地の寄附により取得し、路線的に整備を行う。		寄附道路敷整備申請件数 (路線)	
		対象数	47路線
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
委託料 28,323千円		なし	
寄附道路敷測量委託 21箇所 1,367.8m			
境界確定等業務委託 17箇所 1050.9m		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名	寄附道測量達成率		
指標式	寄附測量完了件数 / 寄附道路敷整備申請件数 × 100		
指標設定の意図	後退用地を取得し、道路としての良好な空間を確保する。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 38	b 47		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算（予算）額	55,350	30,544	28,323	50,000	35,000
	人員・時間数	1人	1人	1人	1人	1人
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	63,770	38,964	36,743	58,420	43,420
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している (100%) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 = 80.9%
	$\frac{a}{b} = \frac{38.0}{47.0} \times 100 = 80.9\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$ $\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	整備申請を受けた路線のうち測量を完了できない路線があった。	
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 生活環境の質向上が望まれている中、生活道路としての良好な空間を確保し、防災に強い都市基盤の整備を図る。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 地権者からの寄附行為により、4m未満の狭い道路の解消を図るものだが、一部で寄附を反対する地権者がいて、路線として一度に測量を行えない場合がある。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適切か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 相模原市道として、寄附受納することを目標としているため、代替の可能性はない。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 寄附後、相模原市道として舗装整備されるので市民は満足している。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 区画道路や、地区集散道路といった幹線的な道路整備の一助となる。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 地権者の申請により、後退用地の寄附を受けるものであるため、施策的な実施は困難である。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 必要最小限な測量及び登記等に必要書類作成を実施している。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	・後退用地について、買収している自治体がある。 ・後退したのみで、その自治体では寄附等で登記せず後退部は民有のままとしている自治体もある。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	当市は、積極的に寄附として受納し、登記し市道路敷として処理しているので先進的であると思う。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--